

編著者からの  
熱いメッセージ  
の詰まった一冊。

土地家屋調査士の  
未来と展望

# 筆界特定制度と 調査士会ADR

日本土地家屋調査士会連合会名誉会長 **西本孔昭** 編著

■A5判 ■256頁(予定) ■定価2,500円(本体2,380円) ■ISBN978-4-8178-1328-2 ■平成19年7月刊行

**全** 国に設置されはじめた境界問題相談センター。「境界問題相談センターかながわ」運営委員の柳川猛昌弁護士による、センターの現状と問題点及び今後の展望を示しています。各会、各センターにおいても非常に参考になる内容です。

**技** 術的な問題だけでは解決できない「境界紛争」。筆界特定制度やADRの実務に当たる前に、知っておきたい事や考えておきたい事に重点を置いた記述。研修の補助教材としても適しています。

**調** 停のエキスパートであるレビン小林久子氏、稲葉一人氏、そして中村邦夫福岡県土地家屋調査士会会長と編著者との鼎談・対談を収録。筆界特定制度と調査士会ADRの成立の経緯と問題点、筆界特定とADRの連携、両制度に潜む問題点を浮き彫りにし、大きく開かれた調査士の将来を語ります。

不動産登記法に初めて、本当に初めて「筆界」なる用語が登場しました。遅咲きの大輪か晩成型のビッグスターの誕生なのであります。したがって「筆界」の定義には、愛情を注いで確立させる必要があります。それによって「筆界」は、不動産登記の救世主足り得る待望のエースに育つでしょう。

—はしがきより抜粋

筆界特定制度の創設と調査士会による民間型ADRの立ち上げにより、境界紛争に正面から取り組むことになった土地家屋調査士。その高い専門性を社会で最大限に発揮するための、筆界特定制度と調査士会型ADRの本質に迫る議論の数々！

## 目次概要

### 第1章 筆界特定制度と土地家屋調査士会ADR ——土地家屋調査士の新たな試み

西本 孔昭

- 第1 筆界特定制度の本質——不動産登記の救世主
- 第2 裁判外境界紛争解決制度の研究委託報告書から
- 第3 パブリックコメントに付された要綱案及び補足説明
- 第4 土地家屋調査士の動き
- 第5 三位一体の取組
- 第6 筆界特定の実務と留意点
- 第7 筆界特定制度を危うくする問題点
- 第8 資料

### 第2章 土地家屋調査士会ADRの取組 ——境界問題相談センターかながわに関する報告と考察

柳川 猛昌

- 第1 はじめに
- 第2 境界問題相談センターかながわ設立の経緯
- 第3 センターかながわにおける相談手続と調停手続
- 第4 センターと筆界特定制度の関係
- 第5 認定を受けた土地家屋調査士とセンターかながわ

### 第3章 鼎 談

レビン小林 久子 × 中村 邦夫 × 西本 孔昭

### 第4章 対 談

稲葉 一人 × 西本 孔昭

お問い合わせ・  
ご注文はこちら



「家族」から発想する、いつくしむ世紀へ

日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号

営業部 TEL (03)3953-5642 FAX (03)3953-2061

<http://www.kajo.co.jp/>